

## 第 15 回技術情報検討会議事概要

1. 日 時:平成27年7月13日(月) 10:00~11:30

2. 場 所:原子力規制委員会13階 会議室C

3. 出席者:

原子力規制委員会

更田委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制部長、山田審議官、青木安全規制管理官(BWR)、山形安全規制管理官(PWR)、澤田安全規制管理官(発電炉検査)、黒村安全規制管理官(新型炉・試験研究炉・廃止措置)、片岡安全規制管理官(再処理・加工・使用)、中島管理官補佐(廃棄物・貯蔵・輸送)、森田全規制管理官(地震・津波安全対策)、青木技術基盤課長、鬼沢安全技術管理官(システム安全)、梶本安全技術管理官(シビアアクシデント)、内田安全技術管理官(核燃料廃棄物)、高松安全技術管理官(地震・津波)

事務局

佐藤原子力規制企画課長、石井企画官、小林課長補佐、帯刀課長補佐、伊藤専門職

4. 議題: (1)技術情報の検討について

(2)その他

5. 議事要旨

(1)事務局より、議題(1)「技術情報の検討について」について、資料の順に従って説明した。

○事務局より、「第14回技術情報検討会議事概要」(資料15-1)、「スクリーニングと要対応技術情報の状況」(資料15-2)及び「2次スクリーニングの検討状況」(資料15-3)について説明があり、了解された。

○「主給水ポンプ喪失時における補助給水(AFW)系統及び非常用給水(EFW)系統自動起動回路の動作不能」について(資料15-4)

- ・ 本件では、ライセンスベースを明確にするという視点が大事である。安全解析の前提となっている条件について、どのような考えをもってLCOの設定等を行うべきか、整理する必要がある。従って、「要対応技術情報とするために更なる調査が必要とされる案件」とし、今後調査を実施していく。なお、当面は、安全解析で自動起動を要求している設備を中心に、調査を行うこととする。
- ・ 本件については、事業者にも確認をした上で、整理していく。
- ・ 本件の進捗については、本技術情報検討会の中で、随時、報告することとした。

○事務局より、「要対応技術情報リスト(累積)」(資料15-5)について説明し、了解を得た。

○事務局より、「国内トラブル情報」(資料15-6)について説明し、了解を得た。

事業者自主設備に関する品質管理については、JANSIを通じて、注意喚起することとした。

(2)その他

○次回技術情報検討会は、平成27年9月7日(月)10時に13階会議室Bでの開催を予定とする。

以上